

1. 園の教育目標

- ・明るく元気な子ども
- ・すすんで何でもしようとする子ども
- ・ねばり強くがんばる子ども
- ・素直で思いやりのある子ども

2. 今年度の重点目標

- ・評価項目に従い、自己評価をすることにより、教師自身が客観的に再確認し、保育の質の向上や施設の改善に取り組んでいく。
- ・教師自身が子どもや保護者、地域の方々に明るく元気にあいさつをし、子どもの手本となる。
- ・異年齢とのかかわりを通して、思いやりや優しさを持った子どもの育みを目指す。

3. 評価項目の達成及び取組み状況

評価項目	取組み状況
指導計画の作成と評価（週案・日案） ・子どもの実態を十分把握し、発達状況を考慮して案を立てているか	・年間計画・期案の見直しを行い、子どもの実態に合わせて、週案、日案の反省を振り返りながら、立案するように努めている。
指導計画の作成と評価（行事） ・それぞれの行事について、子どもの発達を考えながら実施、子どもの実態やねらいなどについて教職員と話し合い、見直しを行っているか	・行事前には、話し合いの場を設け、意見交換や気づきなど行うようにしているが、教師間で共通理解できていないことがあった。 ・終了後には、行事の内容（計画、準備、役割分担）について反省会を行っているが次に活かされていない。
教育環境の構成 ・子どもを温かく受け入れるような環境をつくり、人とかかわる力が育つような配慮をしているか	・子どもが幼稚園に行くことを楽しみにできるような環境作りを心がけ、異年齢児と関わる中で優しさや思いやりの心が育つように努めている。
幼児の観察と理解 ・子どもの話を聞いたり、言葉にならない思いやサインを受け止めるよう努めているか	・子どもの話に耳を傾け、うまく気持ちを伝えることが難しい子どもは代弁してやり、子どもと教師の気持ちが通じ合えるようにしている。子どもの様子や表情などからも変化に気づくように努めている。

<p>教職員同士の協力・連携</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子どものことについて常に教職員間で話し合い、クラスをこえて情報を共有しているか 	<ul style="list-style-type: none"> ・気になった子どもの様子など、クラスを越えて伝え合うように心がけたが、教師間で考え方が違うこともあり、うまく連携できていないことがあった。
<p>研修・研究への意欲、態度</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分の保育については自己課題を持って計画と反省を行い、そこで得た悩みや学びを他の教師と話し合うことができるか 	<ul style="list-style-type: none"> ・日々の保育を振り返る中で、疑問に感じたことや悩みなどを上司に相談をしたりアドバイスを受けている。 ・研修に臨んだが、記録や計画を示すことができず、職員間で共通理解できなかった。
<p>安全への配慮</p> <ul style="list-style-type: none"> ・けがや事故には特に気をつけ、年齢に応じた適切な言葉かけを行っているか 	<ul style="list-style-type: none"> ・個々の遊びの様子を見守り、安全な遊び方ができるように遊具の使い方を確認し、全体に目を向けるよう心がけている。また、日々の遊具の安全点検も行っている。
<p>安全管理体制の整備</p> <ul style="list-style-type: none"> ・緊急時（事故やけが、感染症の発生時など）の対応手順について、全教職員が共通理解を持てるよう取り組んでいるか 	<ul style="list-style-type: none"> ・緊急時の対応については、自己判断せず、所属長をはじめ、他の職員とも連携を取り対応している。ヒヤリハットを作成し原因究明、再発防止に役立てている。 ・避難訓練は計画や内容の見直しを行う必要がある。
<p>情報の発信と受信</p> <ul style="list-style-type: none"> ・園だよりやクラスだよりにて日々の保育の様子を知らせ、個々の子どもの様子は保護者に直接話をしたり、連絡帳を使って伝え合っているか 	<ul style="list-style-type: none"> ・園だよりやクラスだより、ホームページも有効に利用し、園やクラスの子どもの様子を発信している。個々の様子は連絡帳や懇談会を活用している。
<p>情報の発信と受信</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保育中のけがや病気については、速やかに保護者へ連絡を入れ、状況や原因の説明の上、病院へ搬送するなどの対処をしているか 	<ul style="list-style-type: none"> ・保育中のけがは状況など他の職員からも情報を収集し、一人で判断せず、所属長へ報告、相談し、保護者に適切に対応できるようにしている。必要に応じて病院へ連れて行く。
<p>地域への開放と支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・園が持つ専門的な技術や情報、環境、設備などを地域に開放・提供し、子育て支援に取り組んでいるか 	<ul style="list-style-type: none"> ・未就児対象の体験保育を計画し、保護者及び子どもの交流の場となるよう努めている。のびのび通信の中で専門的な知識や情報を発信している。 ・必要に応じて育児相談などを行い、子育て支援に取り組んでいる。

4. 今後取り組むべき課題

課 題	具 体 的 な 取 組 み 方 法
<ul style="list-style-type: none"> ・ 教材研究・事前準備 ・ 教職員同士の協力・連携 ・ 安全管理体制の整備 ・ 研修・研究への意欲・態度 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 立案する時や指導前に様々な方法で試し、子どもの実態に応じた内容や指導法を心がける。分からないことはそのままにせず上司や先輩に尋ねる。 ・ 全職員での話し合いの場を設けることが難しいが、連絡事項や確認が徹底するよう再確認し、時間を有効に使って課題を話し合ったり、情報交換をしたりしてコミュニケーションが取れるようにする。 子どもだけでなく保護者への対応は勝手に判断せず、上司に相談し、事後報告を行い職員間で共通理解する。 ・ 誰かがしてくれるのを待つのではなく、全職員一人ひとりが防災の意識を高め、訓練内容の見直しを行い、計画、実施し園児の安全確保に努める。 ・ 計画的な研修の工夫により効率的かつ必要度の高い内容の研修に参加する。また、研修で得たことを保育に活かすよう工夫する。